



児童像

主体的に学び 創造力のある子  
(かしこく)

はげまし 支え合い 共に伸びる子  
(おもいやり)

強い心と身体をつくる子  
(たくましく)

めざす学校像

- 縦割り活動(異年齢集団)が活発な学校
- あいさつと笑顔があふれる学校
- 夢と感動のある学校

学校課題

やり抜く子どもの育成

研究主題

自ら課題に向かって活動し、問題を解決する力の育成 - 課題発見を重視した授業づくり -

めざす教職員像

- 研鑽に努め、わかる授業ができる教員
- 子ども、保護者及び地域住民の信頼と期待に応える教員
- 教育目標の達成に向けて、協働できる教職員

児童の  
実態把握

課題の明確化  
改善の手立て

共通理解  
実践

評価  
検証

改善策の見直し

経営方針

- 確かな学力、おもいやり、たくましい身体  
の調和のとれた教育活動を推進
- 言語活動を中核にした教育活動を推進
- 「元気に登校、楽しく学んで、笑顔で  
下校できる」教育活動を推進
- 教職員、保護者及び地域住民による協  
働体制「チーム西吉野小」を推進

調査分析

- 全国学力学習状況調査
- 県・市学力学習状況調査
- 全国体力・運動能力等調査

目標値

- 学力学習状況調査結果 全国平均
- 全国体力・運動能力等調査結果 全国平均

具体的な  
取り組み

エビデンス(科学的根拠)

- リーダーシップに関する実践的手法の活用
- 子どもの教育成果の分析に用いる教育生産関数の活用
- 脳科学の成果を視点とした学びづくり
- エドテック(Education Technology)を視点とした学びづくり
- やり抜く力を視点とした学びづくり

やり抜く力の育成

「達成」を得るためには

能力×努力=スキル

スキル×努力=達成

「努力」が2回影響する

適応を必要とする問題の解決

- 時間厳守の徹底(習慣化)
- 学習準備の徹底(習慣化)
- 聞く等の態度の育成
- 学習ルールの見える化

教育生産関数の活用

- 家庭学習の習慣
- 教職員数及び教員の経験値
- 宿題
- 授業時間
- 教育課程

脳科学の成果を視点として

- 集中する
- 思い出す練習をする
- 言語活動を工夫する
- 間隔反復を繰り返す
- 複数の解法で練習する
- ふりかえる

エドテックを視点として

- ICTを活用した授業づくり
- 教科等に応じた情報端末の活用
- 情報の電子データ化と教育用ツールの活用

やり抜く力の育成を視点として

- 経験値の高い教員による公開授業の実施
- 全教員による研究授業の実施
- 管理職及び教務主任による定期的授業観察と改善への支援
- 児童の縦割り活動の活性化

学習習慣づくり  
フロンティア  
プロジェクト